

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品は、総平均法による原価法によっている。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債権は、購入時の取得価額によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
定率法による。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,002,900,000			1,002,900,000
小計	1,002,900,000	0	0	1,002,900,000
特定資産				
30周年記念事業積立資産	4,000,000			4,000,000
公益事業積立資産	36,479,445		3,871,506	32,607,939
小計	40,479,445	0	3,871,506	36,607,939
合計	1,043,379,445	0	3,871,506	1,039,507,939

3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	1,002,900,000	(1,002,900,000)	(0)	—
小計	1,002,900,000	(1,002,900,000)	(0)	—
特定資産				
30周年記念事業積立資産	4,000,000	(0)	(4,000,000)	—
公益事業積立資産	32,607,939	(32,607,939)	(0)	—
小計	36,607,939	(32,607,939)	(4,000,000)	—
合計	1,039,507,939	(1,035,507,939)	(4,000,000)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	468,405	468,402	3
合計	468,405	468,402	3

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益	備考
ノムラヨ-ロッパファイナンス エヌブイ No.48063	200,000,000	200,540,000	540,000	100円当り100.27円
ノムラヨ-ロッパファイナンス エヌブイ No.42655	200,000,000	172,880,000	△ 27,120,000	100円当り86.44円
ノムラヨ-ロッパファイナンス エヌブイ No.42664	100,000,000	90,660,000	△ 9,340,000	100円当り90.66円
シルフミテッドシリーズ 50409	300,000,000	272,130,000	△ 27,870,000	100円当り90.71円
三菱UFJ証券ホールディングス PRD債	100,000,000	91,433,000	△ 8,567,000	100円当り91.433円
ザ・ゴールドマン・サックス・ グループ・インク PRD債	100,000,000	85,554,000	△ 14,446,000	100円当り85.554円
合計	1,000,000,000	913,197,000	△ 86,803,000	

※ 満期まで保有の場合、元本割れのリスクは発生しない。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	19,759,867
基本財産受取配当金	2,900,000
受取寄附金	400,000
合計	23,059,867